

各地区業況アンケート結果（2022年5月調査分）

（2022年5月26日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、5月25日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ82名の回答があり（回答率58.2%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = (A×2+B×1-D×1-E×2) ÷ 総回答数×100、(数は回答実数)

1. 先月と同じく4割弱の企業が売上数量前年割れ

問1】貴社の4月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	17	10	23	16	15	81	79
比率	21%	12%	28%	20%	19%	DI-2	DI-11
売上金額/前年同月比	44	11	20	3	4	82	80
比率	54%	13%	24%	4%	5%	DI+107	DI+101

2. 先月と同じく7割強が黒字

問2】貴社の4月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	34	24	18	5	1	82	80
比率	42%	29%	22%	6%	1%	DI+104	DI+95

3. 連休明け徐々に減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て5月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		4	27	21	3	55	-42	-33
民間建設向	1	10	28	27	3	69	-30	-24
自動車向		1	19	15	5	40	-60	-49
その他需要家向	2	7	38	20	1	68	-16	-11
仲間取引	1	4	37	19	4	65	-32	-34
計	4	26	149	102	16	297	-34	-28
比率	1%	9%	50%	34%	6%			

4. 今後とも需要が盛り上がる気配なし

問4】貴社における向う6月から8月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	14	46	18	3	82	79
比率	1%	17%	56%	22%	4%	DI-10	DI-1

5. 鋼板類、若干過剰ぎみ改善されず

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	品種別	A	B	C	D	E		5月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
0	-3	-14	-9	3	-10	-3	-6	-15	-17	-10	-10	-10	鉄筋用丸鋼		1	28	2		31	-3
8	4	4	14	25	14	11	6	-3	-7	-3	-14	-23	構造用丸鋼			26	2		28	-7
0	0	0	11	21	6	6	6	-10	-9	-9	-10	-6	平角鋼			31	4		35	-11
-3	6	23	33	48	41	43	35	20	7	0	-10	-7	H形鋼		3	24	3		30	0
14	24	83	125	140	142	150	139	88	91	13	19	30	コラム	1	8	13	1		23	39
-3	6	-6	3	8	9	3	6	-11	-6	-15	-21	-11	小形山形鋼			26	9		35	-26
-6	-3	-9	3	9	9	8	3	-11	-6	-18	-21	-12	中形山形鋼			28	8		36	-22
-6	3	-16	6	8	9	11	6	0	-6	-9	-9	-15	溝形鋼			29	7		36	-19
0	17	39	50	73	68	65	34	19	0	0	-4	-10	軽量形鋼C形		1	27	3		31	-6
0	14	17	39	63	33	39	27	-5	6	0	-6	0	軽量形鋼広巾		1	16	1		18	0
148	158	162	166	158	123	110	79	45	24	3	-41	-39	冷延薄板		1	24	9	2	36	-33
100	123	133	133	118	103	83	53	35	17	-17	-33	-20	熱延薄板		2	28	7	2	39	-23
134	161	163	162	145	133	127	97	59	47	21	-24	-30	表面処理鋼板			31	4	3	38	-26
150	161	168	169	164	126	109	80	47	15	-15	-27	-35	酸洗鋼板		3	21	10	2	36	-31
95	104	116	113	114	100	76	43	30	10	-13	-18	-14	中板		4	32	6	1	43	-9
36	56	76	102	95	90	83	67	53	26	-3	-5	-10	厚板		1	33	7	2	43	-23
24	39	67	70	86	68	68	52	35	26	9	18	-6	極厚板	1		13	3	1	18	-17
13	45	43	64	41	52	41	33	7	14	3	-7	-3	縞板			28	4		32	-13
15	29	47	57	73	83	71	64	21	16	0	-3	-3	中径角		4	25	2		31	6
12	19	32	42	58	58	32	38	23	6	-3	0	-14	ガス管黒		2	28	4		34	-6
6	20	29	49	61	61	39	38	19	13	0	0	-9	構造用鋼管		1	27	2		30	-3
37	49	57	70	72	64	55	43	21	12	-4	-12	-13	計	2	32	538	98	13	683	-13

6. 需要が少なくタイト感のない中での価格転嫁に苦慮

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	(形鋼) 4月に入り、やっと荷動きが上向いてきた。冬場は値上げが停滞していたが、4月から段階的に実行している。5月は更にメーカー値上げ分を完全に転嫁したい。
	B	牛舎が出始めたが先高と見越して買われてしまったのか。材料が揃わない。
	C	北海道の丸棒はかなりの価格で高止まっている。スクラップ価格の高騰が主因だが、ここへきてスクラップが続落している。直近の仕入値の綱引きが続く。
	D	中小案件が少ないので、夏以降の信用問題が出てくる。
東北	A	積算物件が増えてきたので、期待できるのでは。反面、信用不安は増すばかり。
	B	新型コロナの影響に加え、ウクライナ情勢による価格上昇で投資の減退が散見されつつある。今後の見通しは不透明。
	C	鋼材価格が高騰し、物件の着工時期に遅れが出ているものもある。
新潟	A	中小の建築案件が少ない。半導体や他の部品入荷(輸入)が引き続き悪いようで鋼材の需要も停滞気味である。メーカー発表の価格転嫁だけでなく当社の経費等を綱領した+αの値上げ交渉が必要だが、鋼材のタイト感がなく+αの値上げが困難。中国のロックダウンが明けて生産回復、需要増に期待する。

新潟	B	多少の荷動きが出てきた感じであるが、鋼材価格の値上げが止まらない中、今後の需要に不安がある。
	C	販売価格の値上げ。適正な利益確保。
	D	前月（4月）は予定通りの物件が出たため、それなりであった。5月は連休もあり4月に比べて数量は落ちる。6月からは物件もあるので、それなりの稼働になるのでは。
	E	鋼材のタイト感は薄れていたが、価格は更なる値上げ継続中のため、需要家への状況説明に奔走。鉄以外の資材も入手難。価格高騰があり、需要家の意識も変化している。
	F	ファブは受注残を抱え、堅調に推移していることにより、建築関連需要は順調だが自動車関連の回復は見込みが立たず、暫く厳しい需要環境が続くそうである。
	神奈川	A
B		材料高の影響もあり、案件がまとまるのに時間が必要とされている。今後もメーカー値上げが行われ、流通も転嫁を実行せざるを得ないので、ますます状況は悪くなる様に予想される。
C		足元の高炉、電炉メーカーの素材価格値上げについて、特に薄板は顧客の価格転嫁の受け止めが厳しい。これからタイト感が出てくるだろうが、自動車メーカーの生産水準がいつ回復してくるかがカギとなる。
東京	A	（店売り）メーカーからの値上げ要請はあるものの需要がなく、売上にも影響が大。（建設機械）ウクライナ問題、半導体、中国のコロナ対策もあり、生産も減少傾向にある。
	B	中小建築需要は停滞しているまま。薄板三品在庫もまだ過剰な中、メーカーの大幅値上げ要請。末端の最終ユーザーが転嫁を認めてくれそうにないが、このままでは粗利が赤字になってしまい、商売が成立しなくなる恐れあり。
	C	昨年の価格上昇と今年の価格上昇は原因が異なる。昨年、上げ過ぎたことも、需給が緩んでいることも、容赦なくメーカーは値上げするだろう。
	D	4月は前月より2営業日少なかったが、売上数量、金額ともに横ばいであった。今後の需要は先行きに鈍調を感じる中での値上げは不安に拍車をかける。
	E	4月は3月比、日当り売上1%減。5月2週目以降は徐々に引合いが活発になるが、相変わらず需要家にまとまった仕事はない。自動車向けプレス工場が廃業。住宅向け電気設備販売会社が倒産。与信極度額超過で多数見直しを実施。
	F	メーカー値上げの転嫁に動きたいが、在庫が多く、販売数量を伸ばしたいという思いの中で値上げの判断が厳しい環境にある。その中でも、先を見て価格転嫁に動いていきたい。
	G	若干、上向き傾向だが、コロナ以前への回復は不透明。物価上昇が痛手である。
	H	年度変わりの動きは、落ち着いてしまっている。6月以降も大きな動きは少ない予想となっている。客先の海外調達部品の状況により動向が変わるため数か月後の予想を立てるのが難しい。
	J	（薄板の需要動向）自動車の生産が低調なため、ひも付きを中心に在庫過多。鉄鋼メーカーのロールに余裕があり入荷も堅調。輸入材の入荷も順調で、在庫の減少が進まない。ひも付きの値上げスピードが遅く、店売り価格との格差が広がっている。店売り価格の値上げに支障が出ている。
	静岡	A

静岡	B	新規案件の出件は少なく、一般形鋼の荷動きは低調。輸送機関連も製品メーカーの動向に左右され、在庫に過剰感が出つつある。素材メーカーの値上げ姿勢に揺るぎはなく、価格転嫁に厳しい環境が続く見通し。
石川		トラック、バス、乗用車等は不正検査の影響で激減している。半導体やその他、市中に不足品が多く、機械全般が遅れが目立つ。いつ頃、正常に戻るのか見通しが悪い。その環境の中、鋼材全般が値上げラッシュになっているが、実需が少ない。信用不安が徐々に噂されているが、早く手形が全廃になれば、かなり与信管理が楽になる。それにしてもウクライナ、ロシア戦争が最悪にならなければよいが。
富山		今年に入り、溶断業者、鋼材店、スクラップ業者、クレーン業者等の鉄に関わる企業の廃業、合併が重なり始めた。現在の不安定な状況により将来の見通しが厳しいと判断される方が多い様である。
岐阜		鋼材の仕入単価の上昇が加速しだした。転嫁しにくいなどと言っている場合ではなくなった。ユーザーの親会社やゼネコンの発注値段も気になるが、スピードが速すぎる。この需要の少ない時にどのような方法で利益を出していくのか考える間もなく+10円、+10円となっていくステンレスの状況を見ていると怖くなる。
大阪	A	前年同月比は伸びているが、現状分析の観点からすれば適当ではない。単価が上昇していなければ壊滅的な数字が並んでいただろう。そう考えれば現行の単価上昇で実質の労働量も加味してバランスが取れているように思う。
	B	建産機は部品調達難の影響が出ているものの、生産の絶対数は高水準であり、堅調に推移。鋼製家具は不需要期に入っているため低調。中小建築案件の見直し、延期、キャンセルが増加しているせいか溶融亜鉛メッキの荷動きが悪く、在庫が過剰な状況。
	C	鉄筋用丸鋼の需要動向は順調。
兵庫	A	今後の値上げよりも、品物確保が重要になってくると思われる。メーカーも店売りを重要視してほしい。
	B	仕入高に市況がついていけない。先々の建築案件の延期も、ちらほら見られるようになった。
岡山		弊社も仕入先（切板屋）も過去に見たこともないほど、PLを積んでいる。入荷よりも出荷が少ない状況が数ヶ月続いている。
北九州		九州地区では建築物件が動いているので、物量と売上は良くなっているが、中小物件が少ないため倉出し販売は相変わらず低調。販売価格を上げづらい状況が続いている。
福岡	A	足元の原材料、燃料の高騰等を反映したメーカー値上げにより、鋼材の売り腰も引き締まり、積み残し分を含めた転嫁の動き。値上げは急激かつ大幅なため、吸収できるレベルではない。
	B	今年度に入り、各メーカーは大幅な値上げを行っているが、まだ前年度値上げ分の価格転嫁が完了していないため、早急に行っていきたい。